

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Meta-analysis of risk factors for cutaneous melanoma: III. Family history, actinic damage and phenotypic factors.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MM-CQ1-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I)	
	Pubmed ID	16125929	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Eur J Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	41	
	号	14	
	ページ	2040-59	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2005 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Gandini, S.	European Institute of Oncology
その他著者 1		Sera, F.	Scientific Institute of Tuscany
その他著者 2		Cattaruzza, M. S.	University La Sapienza
その他著者 3		Pasquini, P.	IDI
その他著者 4		Zanetti, R.	Piedmont Cancer Registry
その他著者 5		Masini, C.	IDI
その他著者 6		Boyle, P.	International Agency for reseach on Cancer
その他著者 7		Melchi, C. F.	IDI
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の 6 項目	目的	メラノーマの危険因子を明らかにする
	データソース	Medline
	研究の選択	相対危険度算出可能な情報を含む原著論文
	データ抽出	記載なし
	主な結果	過去の症例-対照研究によるメラノーマの発症の相対危険度は、メラノーマの家族歴 (RR=1.74)、スキンタイプ (I vs IV、RR=2.09)、雀斑高密度 (RR=2.10)、皮膚の色 (Fair vs Dark、RR=2.06)、眼の色 (Blue vs Dark、RR=1.47)、毛髪の色 (Red vs Dark、RR=3.64)、皮膚癌 (RR=4.28)、日光による皮膚障害 (RR=2.02)。
	結論	一般的に、赤毛で皮膚の色が白く雀斑が多い人はメラノーマ発症のリスクが高いといえる。しかし、最近メラノーマの発癌経路は複数存在することが示されており、今後はそれも考慮した疫学研究が必要である。
備考	文献整理番号：メラノーマ Q1 文献番号 1	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	高田 実
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (I) 多数の文献を検討した優れた解析であるが、ここで取り上げられている論文はすべて白人を対象とした研究である。また、日本人に多い肢端黒色腫を扱った論文も解析対象から除外されている。